



旭川市立東光中学校
令和8年度
学校だより④
10月7日 発行

〒078-8348 旭川市東光8条2丁目 Tel:0166-32-1295 Fax:0166-32-1296

学校評価（中間評価）から見えるもの

校長 高島 伸彦

大雪山系からは早くも初冠雪の便りが届き、朝夕の寒気には一足早い秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解と多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、このたび実施いたしました令和8年度「学校評価（中間評価）」におきましては、多忙な折にもかかわらず、多くの保護者の皆様および生徒の皆さんにご協力いただきました。ここにその集計結果から見えてきた本校の成果と今後の課題についてご報告し、学校としての思いをお伝えいたします。

1. 「学校の楽しさ」と「安心感」の広がり（成果と更なる目標）

今回のアンケートにおいて最も大きな励みとなりましたのは、生徒の95.5%が「学校生活が楽しい」と回答し、保護者の皆様の82.0%からも「楽しく通っている」との評価をいただいたことです。また、生徒の93.4%が「悩みや相談に乗ってくれる先生がいる」と答え、保護者アンケートでも「生命・いじめに関する指導」への肯定的評価が78.8%に達しました。

教職員評価におきましても、「日常の関わりや教育相談を通じた生徒理解（平均4.59）」や「いじめ未然防止・生徒支援体制（平均4.41）」が高い水準を示しており、日頃の学校からの手厚い家庭連絡や組織的な対応が、生徒の安心感につながっていると実感しております。

一方で、私たちはこの現状に決して満足しておりません。「学校生活が楽しい」と答える生徒「100%」の達成こそが、本校が目指すべき真のゴールです。残るわずかなパーセンテージの中にいる生徒一人一人のSOSや生きづらさにもしっかりと耳を傾け、誰一人取り残すことなく、全校生徒が心から「東光中学校に通ってよかった」と思える学校づくりを追究してまいります。

2. 今後の重点課題 ～「家庭学習」と「自己管理能力」～

次なる成長に向けて明確になった課題もあります。保護者アンケートにおいて「1日2時間以上の家庭学習」を行う生徒は全体の43.0%にとどまり、約半数の生徒の学習時間が1時間未満となっています。一方で、「メディアの利用（TV・スマホ・ゲーム等）」が1日2時間以上」の生徒は76.3%を占めており、ご家庭における学習習慣の定着や端末等の使用ルールの確立が急務となっています。

学校におきましても、教職員評価において「ICT等を活用した家庭学習の習慣化（平均4.05）」や「目標に向けた自己プロデュース（自己管理）力（平均4.05）」が相対的に低い数値となりました。授業内でのICT活用を進めるだけでなく、それをいかに自学自習や自己管理能力へとつなげていくかが今後の大きなテーマです。

3. 地域・家庭と手を取り合って

また、保護者の皆様からは「中学校生活における行事や面談等に関する案内をもっと詳しく知りたい」といった貴重なご意見もいただきました。1年生をはじめとする保護者の皆様の不安を解消できるよう、より丁寧でタイムリーな情報発信に努めてまいります。

学校評価は単なる点数付けではなく、生徒一人ひとりの未来を切り拓くための「羅針盤」です。今回明らかとなった成果に自信をもちつつも、「全員が楽しいと思える学校」を目指して課題に対して学校全体で智慧を出し合い、改善に向けた取組を力強く推進してまいります。今後とも、東光中学校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

吹奏楽コンクール旭川地区予選金賞！ 全道コンクールに出場しました！！

・自由曲「三つのジャポニスム コンポーザーズ エディション」を演奏し見事金賞を受賞。2年連続で全道大会出場を勝ち取りました。



▲札幌コンサートホール Kitara にて

自由曲「三つのジャポニスム コンポーザーズ エディション」は、日本の伝統的な美意識や情景を西洋の管打楽器で鮮やかに描き出した、日本吹奏楽界を代表する大傑作です。「圧倒的なスピード感・彩りの豊かさ・叙情性」が凝縮された演奏で、会場からひととき大きな拍手をもらいました。

8月29日（土）に「札幌コンサートホール Kitara」で行われた全道大会でも見事な演奏を披露し、銀賞を獲得しました。この経験を糧に部員一丸となって練習を重ねた結果だと思います。さらに、見事「日本管楽合奏コンテスト」全国大会への切符を掴み取りました。現在は、全国の舞台でのさらなる高みを目指し、日々練習に励んでいます。

8月1日（土）、旭川市民文化会館で開催された北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選A編成の部に吹奏楽部が出場し、課題曲Ⅱ「ザ・ガーズ」

2年生 食育講座

8月27日（木）、旭川市健康保健部健康推進課から岩崎 愛 氏を招聘し、「楽しく学ぶ！食育講座」と題して、栄養バランスのとれた食べ方を理解し、食を選ぶ力を身に付け、今後の食生活に生かすことをねらいとして、講演を実施しました。

講演では、東旭川学校給食センターの紹介をはじめ、主食・主菜・副菜を揃えた食事の重要性や、成長期に必要な朝食の摂り方などを具体事例とともに解説いただきました。自分の心身の健康につながる食生活を見直す貴重な機会となりました。



後期生徒会役員選挙

9月18日（金）に、後期生徒会役員選挙が実施され、後期の生徒会本部役員が決定しました。今回も立候補者が定数だったことから、無投票当選・所信表明演説会となりました。

後期は2年生が中心となって生徒会活動を牽引します。今まで先輩から学んだことを生かして、リーダーシップを発揮して活躍することを期待しています。



教育実習が終わりました

8月31日（月）から9月29日（火）までの4週間の間に、北海道教育大学旭川校と旭川市立大学、釧路公立大学から、合わせて6名の学生が東光中で教育実習を行いました。実習生は、子どもたちとのふれあいを大切にしながら、授業をしたり、学級活動をしたりして、実習期間を過ごしていました。実習の後半には、大学の教授や学生も参観する中で、研究授業を行いました。教育実習の経験を生かして、将来教員として活躍することを期待します。



伝統を礎とした東光祭

9月15日（火）、テーマ「青瞬（アオハル）～今この瞬間みんなが主役～」のもと、東光祭が開催されました。当日は「開会式セレモニー」「吹奏楽部発表」「合唱コンクール」「生徒会企画（スーパーライブ）」「2学年教室催事、1学年校内装飾・展示」「3年生ステージ発表」「閉会式セレモニー」と盛りだくさんのプログラムで行われました。どの発表も本校のスローガンである「Try & Challenge」を体現した、独創性あふれる素晴らしい内容でした。特に合唱コンクールでは、本校の伝統を感じさせるレベルの高い歌声が響き渡り、ご参観いただいた保護者の皆様からも多くの温かい称賛のお言葉を頂戴いたしました。また、開閉会式をはじめ、全道コンクールに出場した吹奏楽部の演奏やスーパーライブでは、自然と手拍子や大きな拍手が起こり、会場全体が温かい一体感に包まれました。3年生のステージ発表では、中国雑技、ダンス、よさこい、映像・裏方に分かれて趣向を凝らし、学年が一丸となったダイナミックなパフォーマンスで観客を魅了しました。

東光祭 フォトアルバム



オープニング



吹奏楽部発表 with 教育実習生ダンス



合唱コンクール
最優秀賞 3年1組



スーパーライブ



2学年催事



3学年ステージ発表



1学年装飾、美術科



閉会式セレモニー



学校評価（中間評価）結果

学校評価（保護者アンケート）にご協力いただき、ありがとうございます。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

【教職員・生徒・保護者アンケート結果】

項 目	評価者	具 体 的 内 容	平均
学校生活	保護者	お子さんは、楽しく学校へ行っている。	4.12
	生徒	毎日、楽しく学校生活を送れている。	4.37
自己肯定感・自己有用感	教職員	集団活動をより良い人間関係の構築と自己有用感の向上を図る取組の推進	4.55
	保護者	お子さまの自己肯定感が高い方である。	3.09
	生徒	自分はよいところがあると思いますか？	3.88
危機管理 （いじめの対応）	教師	いじめの未然防止、不登校生徒や特別な配慮を必要とする生徒の支援などを組織的に対応できる。	4.41
	保護者	学校は「生命を大切にする指導」「いじめを許さない指導」を適切に行っている。	4.01
	生徒	東光中学校には、いじめや暴力はないと思う。	3.79
学年・学級	保護者	お子さんは、意欲をもち、授業や学級活動に取り組んでいる様子がうかがえる。	3.86
	生徒	生徒会活動・学級の係活動、学校行事に積極的に取り組んでいる。	4.24
学習指導	教師	「東光中授業スタイル」の実践による明確な目標の設定や、学んだことを振り返る場面を設定し、学習内容の理解と定着を図る。	4.27
	保護者	学校は、学習の基礎・基本の定着に向けて指導している。	4.12
	生徒	授業はわかりやすいと思う。	4.18
部活動	教師	生徒の心身の成長を促す部活動の指導に努めている。	4.50
	保護者	学校は、部活動の活動時間を守り、休養日を確保している。	4.30
生活習慣	保護者	お子さんは、メディア（ＴＶ・ＰＣ・スマホ・携帯・ゲーム機等）の利用をコントロールしていますか（学習目的以外での使用時間をお答えください）。	3.12
	生徒	先生や友達に挨拶がよくできている。	4.29
家庭学習	教師	学習内容や場面に応じてICT機器等を活用し、授業での学びを基にした家庭学習の習慣化を図る。	4.05
	保護者	お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	2.81

【教職員の中間評価と今後の対応】

アンケート結果から、各学年に共通して「楽しく学校生活を送れている」「先生や友だちに挨拶がよくできている」「悩みや相談ごとについて、親身に応じてくれる先生がいる」といった項目の評価が高いことがわかりました。今後も、生徒にとって居心地のよい安心できる学校づくりを目指してまいります。

生徒は「自分にはよいところがある」の前向きに捉えている割合が高い一方で、保護者の皆様からは「子どもの自己肯定感が高い方である」という評価がやや低い傾向に見られました。質問内容が異なるため一概に比較はできませんが、今後も、すべての教育活動を通して、「自他のよさを認め合い、笑顔で意欲的に学び続ける生徒の育成」に努めてまいります。

現在、90%以上の生徒がスマートフォンを所持しており、1学期にはSNSに関するトラブルが数件発生いたしました。今後も道德の授業をはじめ、外部講師による出前授業などを通して、スマートフォンの正しい使い方やネットリテラシーについて継続して指導してまいります。

全校生徒の家庭学習の平均時間は約1時間、テレビやスマホなどのメディア利用時間は約2時間半となっています。なかには、パソコンやスマホを操作しながら家庭学習に取り組んでいる生徒もいるようです。今後も「学習・生活リズムチェック」などの取組を通じ、家庭学習の習慣化に向けて啓発を続けてまいります。

いじめへの対応については、1学期に32件を認知し、本人や保護者の皆様の思いに寄り添いながら一つひとつ対応してまいりました。今後も、いじめの未然防止や早期発見、そして組織的な対応を徹底してまいります。

生徒指導対応については、本人や周りの生徒の安全確保を念頭に、関係機関とも連携を図りながら、組織的に対応しています。今後も、安心・安全な学校を目指します。

地域に貢献するボランティア活動として、幼保連携型バンピ認定こども園の運動会に11名の中学生が参加しました。園児のために一生懸命お手伝いをする姿は、園の関係者や保護者の皆様からも大好評でした。今後も、地域と連携し、生徒の自己肯定感や自己有用感を高める活動を推進してまいります。

自転車通学におけるヘルメットの着用は、しっかりと定着してきました。一方で、地域の方から「並列走行をしている」「歩行者に不安を与える運転が見られる」とのご指摘をいただいたこともありました。今後も生徒の安全のため、ご家庭と緊密に連携しながら、交通マナーの指導を徹底してまいります。

【保護者のご意見と今後の対応】

〇いつもありがとうございます。

〇いつもありがとうございます！普段の授業はもちろんの事、部活動、行事など、楽しそうではりきっている様子が嬉しくなります。学校全体の雰囲気の良いさやステキな先生方やお友達！部活動でもチームメイトや顧問の先生にも恵まれてほんとに幸せだな～と感謝しております。

▲進路に関して教えてほしいことがあります。

▲Chrome bookの家での使用時間の制限を設けてほしい。

▲定期テストでも、英語のリスニングを組み入れると良いのではないのでしょうか。

▲中学生になり、小学校との違いに戸惑うことがあります。例えば、体育大会は保護者が観に行くものなのかとか、面談は子どもも一緒にいるのかとか、中体連の日は休みなのかとか、その時になってみて、そうだったのかとなります。お便りなどをしっかり読んでいないせいかもしれませんが、娘が配布文書を溜め込んでいるのかもしれませんが、1年生のうちは色々わからないことが多いので、たくさんアナウンスしていただけると助かるかなあとと思います。